

科目名	祖典講読IVC			学期	後期	単位数	2	担当者	土居夏樹
副題	『弁頭密二教論』巻上を読む2								
ナンバリング	M3-01-290	授業方法	講義	実務経験の有無			無	関連DP	1,3

授業の目的と概要

前期に引き続き、『弁頭密二教論』巻上を読み進める。この講義では、『弁頭密二教論』巻上に引用された諸宗のテキストおよび大師の解釈、さらにはそれが諸宗の教学本来の立場ではどのように論じられるものであるのか、という点を踏まえつつ、「密教とは何か」という問題を考えて行く。

授業の到達目標

弘法大師空海の著作に親しみつつ、大師当時の諸宗の教学に関する基礎知識を習得し、大師の定義する密教の特徴を理解する。

授業計画

- 前期のまとめと概論（講義の進め方等）
- 『弁頭密二教論』巻上を読む（11）華嚴宗の果分不説 ① 因分可説・果分不可説
- 〃 (12) 華嚴宗の果分不説 ② 華嚴教学における法蔵解釈
- 〃 (13) 天台宗の果分不説 ① 三諦と随情説・随情智説・随智説
- 〃 (14) 天台宗の果分不説 ② 顕教の宗極
- 〃 (15) 天台宗の果分不説 ③ 『法華経』教主と「或者」
- 〃 (16) 法相宗の果分不説 ① 四重二諦と三能変
- 〃 (17) 法相宗の果分不説 ② 法相教学における法身説法
- 〃 (18) 三論宗の果分不説 ① 八不と無生法忍
- 〃 (19) 三論宗の果分不説 ② 『般若灯論積』の仏身論
- 〃 (20) 三論宗の果分不説 ③ 三論教学の法身説法
- 〃 (21) 二重二諦と密号名字
- 〃 (22) 五種言説と十種心量
- 〃 (23) 『菩提心論』の顕密対弁
- 後期のまとめ—密教とは何か—

準備学習（予習・復習）・時間

- ・事前学習として、該当箇所の素読を行うこと（60分）。
- ・事後学習では、配布された資料を参考に素読および語句・内容の確認を行うこと（60分）。
- ・その他の学習については講義内で指示する（60分）。

テキスト

- ・高野山大学編、『十巻章』、高野山大学出版部1966年（事務室で購入）

参考書・参考資料等

- ①中川善教『漢和対象十巻章』、高野山出版社
- ②榎尾祥雲『現代語の十巻章と解説』、高野山出版社
- ③小田慈舟『十巻章講説』下巻、高野山出版社
- ④宍坂宏勝監修『空海コレクション』I、ちくま学芸文庫 ※その他、授業において指示する

学生に対する評価

授業内での素読（20%）、授業への参加度（20%）、期末レポート（60%）で評価する。

ルーブリック（目標に準拠した評価）

- (C) 『弁頭密二教論』の素読ができる。
- (B) 四家大乘（華嚴宗・天台宗・法相宗・三論宗）各宗の基礎的な教義や歴史を説明できる。
- (A) 四家大乘（華嚴宗・天台宗・法相宗・三論宗）批判の問題点を説明できる。
- (S) 上記(C)～(A)を踏まえて、『弁頭密二教論』における「密教」定義の特徴を説明できる。

課題に対するフィードバックの方法

定期試験の講評を行い、復習すべき点及び多くの学生が不正解であった問題を中心に講義をする。

その他

- ・素読や基礎用語の解説など、授業内で指名して答えてもらうので、必ず予習をすること。
- ・わからない単語に出会ったら、辞書を引くなど、調べる習慣を身に付けること。
- ・毎回資料を配布する。万が一欠席した場合は、次回までに事務室で受け取り目を通すこと。

実務経験のある教員が行う授業内容（どのような経験を持ち、どのような授業内容か）